

2023年8月25日

【声明】 ALPS処理水の海洋放出に対する意見

東京都生活協同組合連合会
会長理事 村上 次郎

当会は、東京都内で306万人の組合員が加入する69の会員生協の出資により活動する生活協同組合連合会です。当会はこれまで、「関係者の理解なしにはいかなる処分も行わない」という約束を順守し、ALPS処理水の海洋放出については地元関係者はもとより国民の理解と納得が得られるよう丁寧な検討と説明を行い、拙速な判断をしないよう繰り返し関係者へ要請を行ってきました。そして、ALPS処理水の海洋放出の政府方針に対しては時期尚早であり、これをいったん白紙に戻した上で多大な影響を懸念する関係者との信頼回復を図り、海洋放出以外の方法での処理を含めて再検討をするよう求めてきました。

しかしながら、こうした意見を受け止めることなく決定された今回の海洋放出の実施は誠に遺憾であり、到底容認することはできません。東日本大震災で大きな被害を受けた被災地の復興への取り組みが進みつつある中での今回の決定は、被災地の復興に心血を注ぎ努力をされてきた多くの関係者の想いを踏みにじるものと言わざるを得ません。

今回のALPS処理水の海洋放出をいったん停止し、事故を起こした福島第一原子力発電所からの処理水や今後の廃炉に向けた道筋等の諸問題について、風評影響を受ける恐れのある地元関係者をはじめ国民との対話を丁寧にすすめ、信頼関係の構築と海洋放出以外の方法の是非について改めて検討することを強く求めます。

以上